



## Contents

- ◇生活期リハビリテーション紹介
- ◇施設紹介  
【第3特別養護老人ホーム恵泉】
- ◇施設トピックス ~恵泉の日常~

2023年春号  
社会福祉法人  
明石恵泉福祉会

# 生活期リハビリテーション紹介

## 訪問編



おうちやお部屋に伺うと  
ひとり一人これまで歩んできた道があり  
たいせつなこと  
たいせつなもの  
こだわり  
その一つひとつを教わります

できなくなったこと  
したいけどできないこと  
今できていること  
どうしたいのか

その想いを少しでも  
これからにつなげていけるように・・・

# —たくさんの思い出が あります—



80代後半の方です。技術者として定年まで勤め、自治会や老人クラブの設立にも貢献されました。奥様と2人で…、社員旅行で…、旅行にもたくさん行かれました。今は覚えておくことが難しく、色々なことを忘れてしまいますが、お部屋にはたくさんのアルバムがあります。奥様と一緒に昔の写真を見ることで、こんなことがあったのかと楽しんで見ておられます。一部の写真は覚えていることもあります。説明してくださることもあります。運動をしたり、歌を歌ったり、時にはアルバムを見て頂き思い出を聴かせていただいています。

## —継続は力なり—

80代後半の方です。リウマチがあり手の力が入りにくく、細かいことがしにくくなっていますが、まだ少しあ料理もされています。リハビリとして折り紙を行っていますが、広告の箱作りはかなり慣れており、違うものに挑戦してみました。少し細かいものですが、上手く折れました。組み立ては少し苦戦しました。本を読んだり、パソコンしたり、これまで色々なことに取り組んでこられました。膝の手術の後に覚えた体操も毎日続けています。



いつも広告で箱を作っています。洗濯場のゴミ箱として利用してもらっています。しばらくお休みしていた間に力が入りにくくなり、再開してみて、続けることの大切さを実感しています。

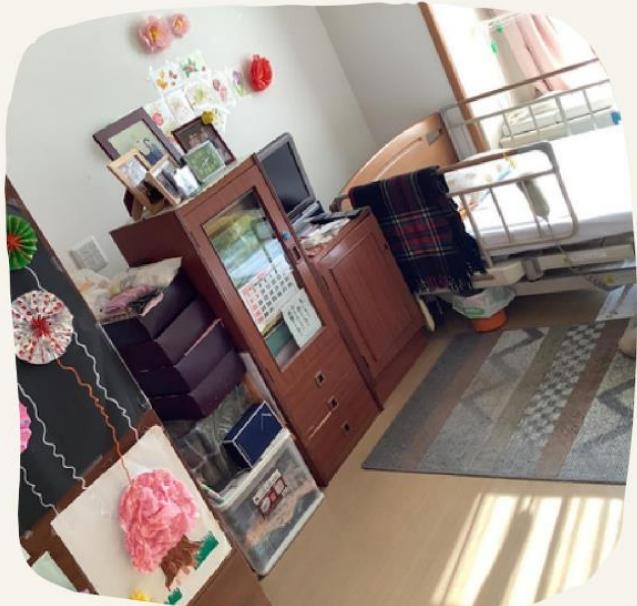


## —出来ることは自分で！—

90代の方です。大腿骨を骨折してから約1年5ヶ月、足の痛みなどによりなかなか外出も出来ませんでしたが、久しぶりに買い物に行くことが出来ました。元々、毎日バスに乗って買い物に出かけておられました。いつもはヘルパーさんにお買い物してもらっていますが、手に取って自分で選びたいと行く決心をしました。現在は、歩行器が必要でバスに乗って出かけることは難しいですが、タクシーを利用し、時々出かけられるようになりました。毎日の歩行練習も自分が行うこと、トレーニングとして取り組まれています。



## 惠泉第3特別養護老人ホーム はどんなところ？



### 惠泉のユニット型特養の特徴は？

- 全室完全個室で、プライバシーに配慮されたお部屋です。
- 使い慣れた家具や、食器類などをお持ち頂けます。ご自宅に近い環境で過ごして頂けます。
- 10名様を1グループとし、介護サービスを提供しています。



- 少人数ケアのため馴染みの関係が形成しやすい環境にあります。職員も固定配置されており、「いつもの人」として顔馴染みの関係が保てます。
- ご入居者一人一人と対話しやすい環境にあります。
- 対話を重ね、得ることができた一人一人のニーズを担当職員が中心となり、具現化しています。

STORY 暮らしの継続

# 3特の暮らし紹介

## 暮らしの継続



毎朝の習慣を施設でも



趣味仲間で、クラブ活動実施中



スキンケアの  
お手伝いです。



好きなものを  
いつまでも



第3特養では地域支援活動にも取り組んでいます。

第3特養では、地域のみなさまと共に社会の高齢化に向かって歩んで行くために、定期的に地域の公民館や集会所へお伺いし住民の皆様との交流会や学びの場を設けさせていただいているます。

高齢化に伴う、地域が抱える問題を皆様と共有しながら高齢者施設として得た情報を発信する事で、これからも法人として、地域と一緒に続けたいと考えています。

ご入居の相談・お問い合わせは  
恵泉第3特別養護老人ホーム  
TEL: 078-934-9111  
mail: 3tokusoudan@akashi-keisen.com 担当：酒井

# 施設トピックス



## 第1特養

今年の正月始めに”おみくじ”を行い、今年一年の運試しです。ご利用者さんがおみくじ箱に手を入れる際、手を入れたり、ひっこめたり悩んだ様子でドキドキしながら取り出した結果は如何に！

”吉”や”大吉”等様々な結果になり、ご利用者同士で「どうやった？」、「私はこれやったわ～」と談笑され笑顔があふれていました。

## 第2特養

1月のおやつレクリエーションでは、いちご大福を作りました。ご利用者同士で「上手に出来てるやん。」「そう？」とお話ししながら、とても楽しそうに生地や餡子をこねている姿が見られました。最後は美味しい出来たようで、「美味しいね。」とお話ししながらご賞味されていました。



## グループホーム



家族様から心のこもった写真付きの寄せ書きを頂いたグループホームのご利用者。写真を眺め「この子はね、すぐに泣くの」「この子は学級委員長を立候補したの」「この子はねえ…」と、職員に教えて下さいます。その表情は誇らしげで嬉しそうで…。母の顔、人生の先輩の顔を見ながら、聞いているこちらまで心が温かくなる、そんなひと時です。

## 老健 東館

お正月は初詣におみくじが定番です。ご利用者の皆様に、職員手作りの「恵泉おみくじ」を運試しに引いて頂きました。2023年1番初めの運試しということで、皆さまドキドキワクワクしながら「恵泉おみくじ」を引いておられました。おみくじを見ながら、「私、大吉で嬉しいわ」「今年いいことありそうやわ」とにこやかな表情で楽しそうに話しておられました。「皆様が今年一年健康に過ごせますように」と職員一同でお願いしました。



## ケアハウス

新年恒例のbingo大会を開催しました。参加した入居者は、景品を楽しみにする人、みんなとワイワイするのが好きな人、様々な思いでした。「bingo！」という大きな声、リーチにならないことを悔しがる声、景品が当たって「嬉しい」という声、いろんな声を皆で共有しながら、あっという間に時間が過ぎました。楽しめる行事をこれからも行っていきたいと思います。

## 老健 西館

去年の夏、応援して下さった老健東館の皆様に今度は老健西館から、ちぎり絵作品を作成して応援させて頂きました。  
「これで東館の人達は元気でてほしいなあ～」  
「大切なのは気持ちよ、大丈夫伝わるわ」  
大変な時、困っていた時に東館から届いた暖かい気持ちの籠った贈り物。「これが本当の歳末助け合いやな、ははは」御返しを西館の皆様の笑顔と共に贈りましたよ。



## 地域に貢献! 恵泉の福祉活動

明石市の小・中学校に「オレンジサポーター養成講座」の講師として授業をしました。

オレンジサポーター養成講座とは、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守るひと（サポーター）になるための講座です。

「人は歳をとり、老いて衰えていく」、「認知症になった人の苦悩とそれを支えている家族の気持ちに寄り添う」ことを丁寧に説明し、学生からは「認知症になると何もかも忘れると思っていたけど、自分でできることもあるとわかった」などの感想をいただきました。



恵泉にはオレンジサポーター養成講座の講師（キャラバンメイト）が多数在籍しています。地域の集会場等で開催をご希望の際は紙面下の連絡先までご相談下さい。

明石市におけるオレンジ  
サポーター養成講座の  
事務局は明石市役所  
(高齢者総合支援室)です。



doing!  
恵泉は貴方の  
「したい」  
を本気で  
考えます！

## 品質保証

### ISO09001 認証取得

明石恵泉福祉会は福祉サービスの質とご利用者、ご家族の満足度の向上を目指し「介護サービスの質を保証する組織マネジメントの仕組みが整っていること」、その仕組みに基づいて作成されたマニュアルに従って施設が適切に運営されていることが第三者認証機関に認められ「認証評価」を得ています。

発行 社会福祉法人明石恵泉福祉会

編集 広報委員

刊行 令和5年5月

WEB <http://www.akashi-keisen.com/>

所在地 〒674-0051

明石市大久保町大窪2818

連絡先 078-936-8003